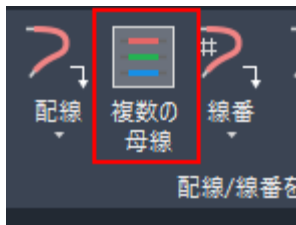


三相線作図。複数の母線を使用しましょう



三相線を作図するのは意外に大変な作業です。単純なコピーでは終点が揃いません。

複数の母線コマンドは、複相の配線を一括で作図します。分岐も可能です。

三相に限らず配線数を制御可能です。

複数の母線は、配線の始点と本数を設定してから作図を行います。配線画層選択は始点決定前にコマンドラインから選択可能です。

① コマンドを実行しダイアログを開きます。

② 間隔 水平・垂直には配線の間隔を入力します。

手入力で配線間隔を入力します。水平・垂直で異なる値を入力可能です。

デフォルトは図面プロパティの 図面形式タブ 複数配線間の間隔 にて設定します。

③ 開始場所 配線の始点をどこにするかを選択します。

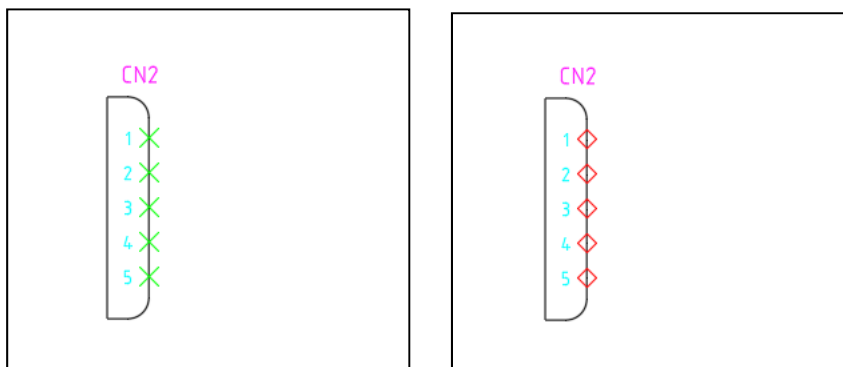
開始場所:

- ☐ コンポーネント(複数配線)
- ☒ 他の母線(複数配線)
- ☐ 空の領域、水平
- ☐ 空の領域、垂直

コンポーネント・・・回路図コンポーネントから配線を開始します。

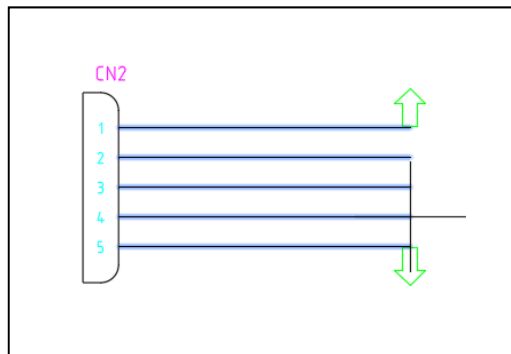
配線接続方向が同一の端子から引き出します。

例 コネクタから引き出そうとした場合、左図のように緑の接続点が表示されます。



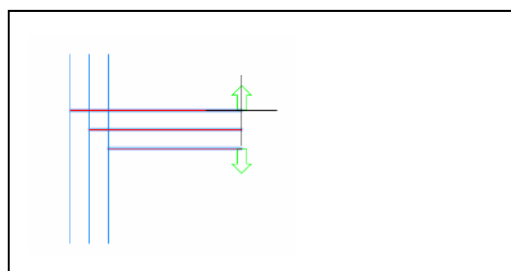
引き出したい接続点を窓選択すると、右図のように選択表示が変更されます。

右クリックまたは ENTER キーを押すと配線が引き出されます。

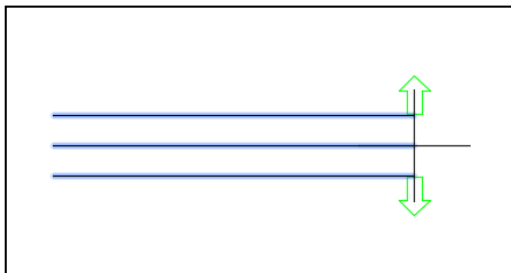


他の母線・・・他の複相線から分岐します。

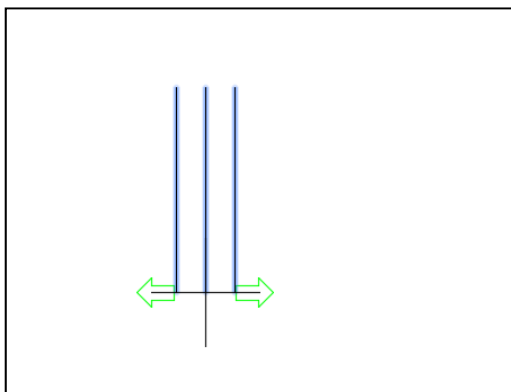
例 縦の三相線を分岐したい場合、左の配線をクリックして右にカーソルを動かします。



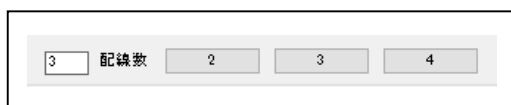
空の領域、水平・・・水平に複相線を何も無い場所から開始します。



空の領域、垂直・・・垂直に複相線を何も無い場所から開始します。

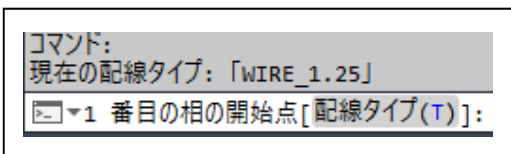


- ④ 配線数は数字のボタンを押すか、直接本数を入力します。



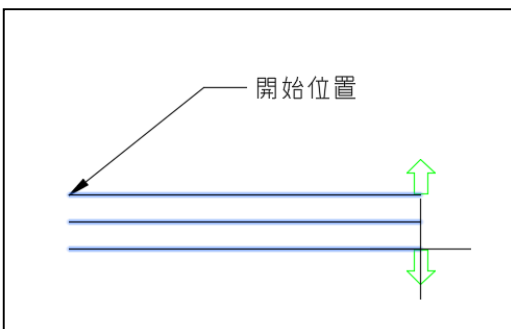
- ⑤ OK ボタンを押します。

- ⑥ コマンドラインの 配線タイプ(T) をクリックして配線画層を切り替ええます。



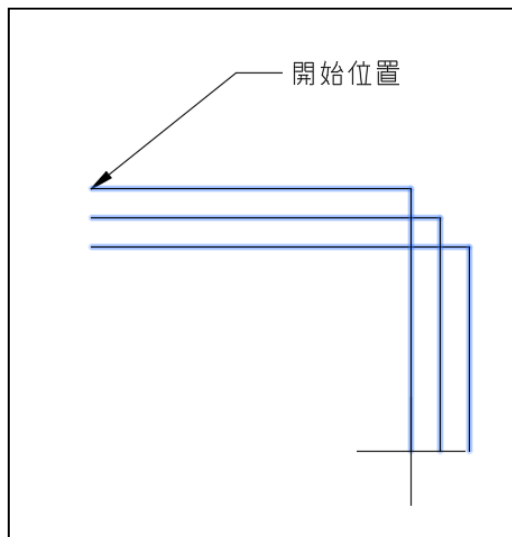
- ⑦ 開始場所の選択により多少異なりますが、基本的には開始位置を指示して配線作図を始めます。

例 空の領域、水平の場合



開始位置をクリックして右側に向かって配線。

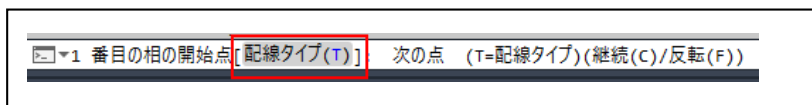
- ⑧ 単独の配線同様折れ曲がりが可能です。水平から垂直にとカーソルを移動します。



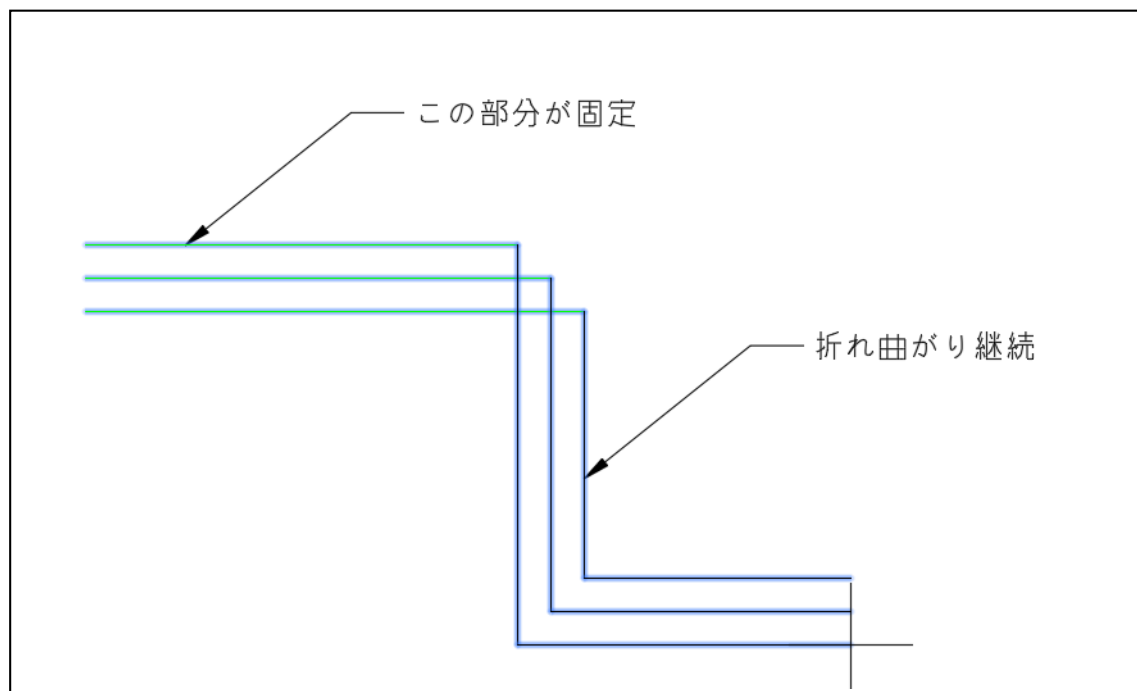
- ⑨ コマンドラインにオプションが表示されます。各キーを入力します。

配線タイプ...配線画層変更です。

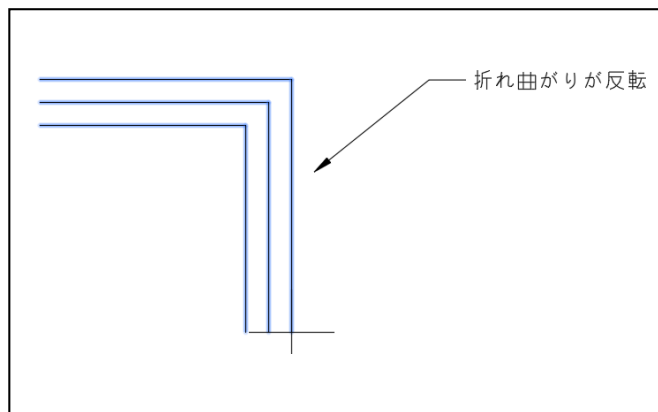
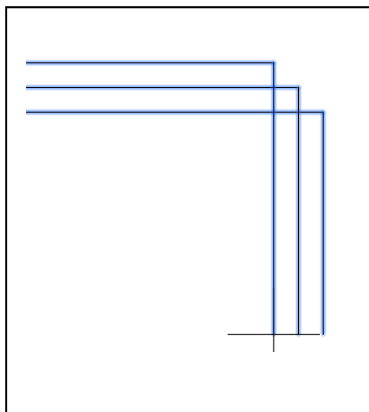
オプション部分をクリックするか、“t”をキーボードから入力し ENTER。



継続...最初の折れ曲がり決定し作図を続けます。“c”をキーボードから入力し ENTER。



反転・・・折れ曲がり方向を調整します。



⑩ 継続しない場合、左クリックで作図終了です。